

## 目次

### I 育成経過と品種特性

1 育成経過	
(1)育種目標	… 1
(2)育成経過	… 1
(3)名称	… 1
2 生育特性	… 2
3 開花・収穫開始日	… 2
4 収量特性	… 3
5 果実特性	
(1)外観	… 3
(2)糖度と酸度	… 4
(3)糖・酸組成	… 4
(4)ジューシーさ（多汁性）	… 4

### II 栽培管理のポイント

1 育苗管理	
(1)親株管理	… 5
(2)育苗日数	… 6
(3)育苗期窒素施用量	… 6
(4)ポットサイズ	… 7
(5)定植時期	… 7
2 本ほ管理（土耕栽培）	
(1)栽植密度（株間の目安）	… 8
(2)摘果、摘芽、ランナー管理	… 9
(3)かん水管理	… 10
(4)施肥管理	… 10
3 本ほ管理（高設栽培）	
(1)栽植密度（株間の目安）	… 10
(2)摘果、摘芽、ランナー管理	… 11
(3)給液管理	… 11
(4)養分吸収特性	… 12
4 環境制御	
(1)温度管理	… 13
(2)炭酸ガス施用	… 13
(3)飽差管理（ミスト噴霧）	… 13
(4)クラウン温度制御	… 14
(5)クラウン冷却未分化定植	… 15
5 早期収穫法	
(1)夜冷短日処理	… 17
(2)暗黒低温処理	… 17
(3)育苗ポットの種類	… 18
6 防除管理	… 18
7 生理障害	
(1)主な障害果	… 19
(2)細長果(仮称)について	… 20

### III 収穫調整・流通販売

1 着色度と品質の関係	
(1)着色度別、収穫時期別の糖酸	… 21
(2)果肉、果実表面の硬さ	… 22
(3)果色	… 22
(4)出荷前の適切な温度環境	… 23
2 出荷・販売に適した収穫時の着色度	
(1)荷傷み防止の観点	… 23
(2)実需者の観点	… 24
(3)消費者の観点	
ア 購買意向	… 24
イ 食味	… 25
(4)観点別の収穫に適した着色度	… 26
3 販売特性	
(1)市場出荷	… 26
(2)観光農園	… 27
(3)購入希望場所	… 27

# I 育成経過と品種特性

## 1 育成経過

### (1) 育種目標

神奈川県内のイチゴ生産者等から、他県産との差別化を図るためには県オリジナル品種が必要との要望を受けて、新品種育成に取り組みました。年内から収穫でき、栽培期間を通して糖酸比が安定して良食味であること、色艶や果実硬度が一定のレベル以上であること等の特性を有する促成品種の育成を目指しました。

### (2) 育成経過

2015年にイチゴ4品種1系統（「やよいひめ」、「紅ほっぺ」、「章姫」、「さぬき姫」、「久留米63号」）を用いた8組合せの交配で得られた877個体のうち、年内収穫が可能な早生性を有すると考えられる25個体を1次選抜しました。2016年には、1次選抜した25個体から「紅ほっぺ」（静岡県育成品種）と「やよいひめ」（群馬県育成品種）の交配組み合わせで得られた1個体（B×Y#9）を2次選抜しました。2017年の特性調査により、「B×Y#9」の有望性が確認できたため、選抜を完了しました（図1, 2）。2018年から2019年にかけて、特性検定試験、生産力検定試験および現地適応性試験（県内生産者ほ場：土耕6か所、高設3か所）を実施しました。生産者からは、年内収量は少ないが、花数が少ないため摘果が省力でき、果実の硬さ、果形、食味の良さが評価されました。そこで、2020年9月2日に品種登録出願を行い、2024年11月8日に種苗法に基づき品種登録されました（登録番号第30499号）。

### (3) 名称

神奈川県いちご組合連合会の会員らから名称を募集し、「神奈川」の「かな」と平安時代の美女として知られる「小野小町」の「こまち」から、「神奈川生まれの美しくて美味しいイチゴ」という思いが込められた「かなこまち」が選定されました。

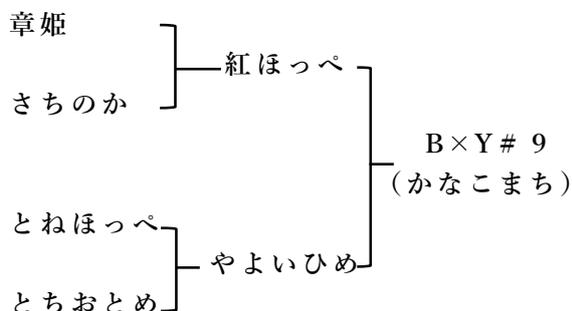


図1 「かなこまち」の系譜図  
上段：子房親、下段：花粉親



図2 「かなこまち」の果実

## 2 生育特性

「かなこまち」は、草勢が強く、葉長、葉幅、葉柄長は県内主要品種とほぼ同等ですが、果房長が「紅ほっぺ」とほぼ同等で長く、草高は「紅ほっぺ」より高いです。また、1番果と2番果および2番果と3番果の果房間葉数は「紅ほっぺ」とほぼ同等で、連続出蕾性を有します。果柄の形状は放射状に出て、均一の太さであるため、比較的大きさの揃った果実が収穫できます。休眠性は浅く、電照栽培は不要です。葉色は薄く、ランナーの発生が多い品種です（表1）。

表1 生育特性（土耕）

品種名	草勢	葉長 (cm)	葉幅 (cm)	葉柄長 (cm)	果房長 (cm)	草高 (cm)	1番果と2番	2番果と3番
							果の果房間 葉数 (枚)	果の果房間 葉数 (枚)
かなこまち	強	7.7	14.8	8.7	23.2	17.5	3.9	3.8
とちおとめ	やや強	7.2	13.7	8.5	20.2	9.3	4.6	4.8
紅ほっぺ	強	7.2	14.0	9.3	22.8	15.0	3.7	4.0
やよいひめ	やや強	7.8	15.0	7.8	21.5	13.2	4.2	3.8

2018年度栽培。葉長、葉幅、葉柄長、果房長、草高は2019年1月16日調査。

## 3 開花・収穫開始日

開花開始日および収穫開始日は「とちおとめ」や「紅ほっぺ」より遅く、「やよいひめ」より早いです（表2）。花数が少なく、摘果作業が省力的になります。

表2 定植日、開花開始日および収穫開始日（2016-2018）

試験年度 品種名	2016			2017			2018		
	定植日	開花 開始日 <sup>z</sup>	収穫 開始日 <sup>y</sup>	定植日	開花 開始日	収穫 開始日	定植日	開花 開始日	収穫 開始日
かなこまち	9月30日	11月15日	12月21日	9月22日	11月25日	1月5日	9月20日	11月17日	12月25日
とちおとめ	9月30日	11月15日	12月21日	9月22日	11月19日	12月21日	9月20日	11月9日	12月20日
紅ほっぺ	9月30日	11月15日	12月21日	9月22日	11月16日	12月18日	9月20日	11月6日	12月7日
やよいひめ	9月30日	11月22日	1月4日	9月22日	11月26日	1月5日	9月20日	11月30日	1月4日

z:調査区の20%の株が開花した日。y:頂果房の収穫を開始した日。

2021年から2024年までの定植日、開花開始日、収穫開始日のデータは表11を参照。

#### 4 収量特性（土耕栽培、2018）

ポット育苗で、12月下旬から収穫可能になります。年内収量は低いです  
が、総収量は4 t/10a程度で「紅ほっぺ」と概ね同等の多収性があります（図  
3、4）。

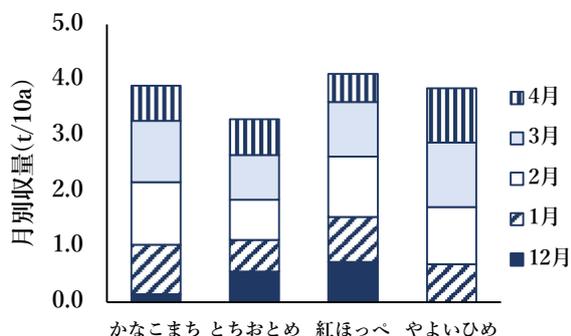


図3 10a当たりの月別収  
(栽植密度 6,667 株/10a)

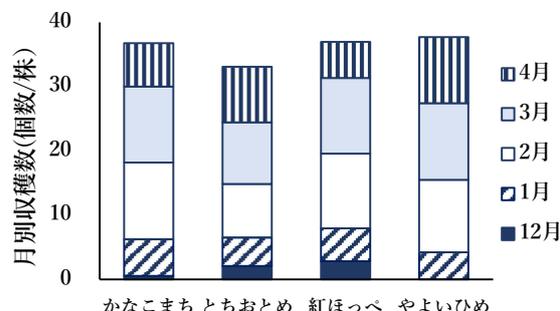


図4 月別収穫個数（株あたり）  
(栽植密度 6,667 株/10a)

平均果重は16.4gと「紅ほっぺ」並みに大果で、収穫果実の規格別割合は  
2Lが多く、かつ3LからLまでの果実が多く収穫できます（表3）。

表3 規格別割合（2018）

品種名	規格別割合果数対比 <sup>z</sup> (%)					平均果重 (g)
	3L	2L	L	M	S	
かなこまち	16.5	24.5	20.7	19.6	18.7	16.4
とちおとめ	4.9	18.1	26.4	20.9	29.7	13.9
紅ほっぺ	12.6	22.4	16.4	16.2	32.4	16.7
やよいひめ	14.4	28.4	21.1	17.8	18.3	15.3

z:S (5.0~9.9g)、M (10.0~12.9g)、L(13.0~16.9g)、2L(17.0~24.9g)、3L (25.9g以上)

#### 5 果実特性

##### (1) 外観

果皮色は濃橙赤で、果肉色も赤いです。果実の光沢は強く、「とちおとめ」  
並みです。果形はやや縦長で、長円錐形であり、整形です。果実の果形比（果  
長/果径）はやや縦長の傾向があり、2月以降、縦長の果実が増加する傾向が  
あります。果実の硬さは「紅ほっぺ」より硬くなります（表4）。

表4 果実特性

品種名	果皮色	果実の 光沢	果実の形	果実表面 の凹凸	果形 揃い	果実の果形比 (縦/横)	果実の 硬さ	果実の応力 <sup>z</sup> (N)
かなこまち	濃橙赤	強	長円錐・ごく整形	無、極弱	良	1.36	やや硬い	2.08
とちおとめ	濃赤	強	円錐・整形	無、極弱	中	1.23	硬い	—
紅ほっぺ	濃橙赤	やや強	円錐・やや整形	無、極弱	中	1.17	やや柔らかい	1.60
やよいひめ	明橙赤	やや強	円錐・整形	弱	中	1.34	硬い	3.02

2019年1月16日調査

z:AMADEN製 RHEONERII CREEP METER RE2-33005Bにより2019年4月8日に測定した。

### (2) 糖度と酸度

糖度と酸度は、年内から3月末までそれぞれ、10.8～12.9° Brix、0.8～1.3g/100gであり、「とちおとめ」や「紅ほっぺ」と同等もしくは高く推移します(図5)。甘味と酸味のバランスがよく、多汁質で食味は良好です。

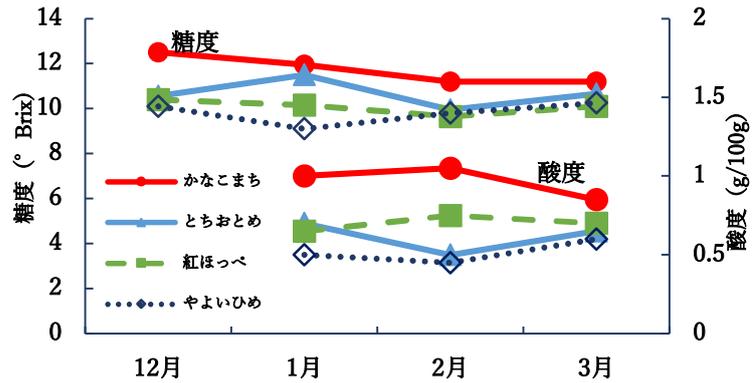


図5 各品種の糖度、酸度の推移 (土耕, 2018, 2019年の平均)

酸度は高速液体クロマトグラフィー。  
((株)島津製作所製、LC-20システムにより計測)

### (3) 糖・酸組成

「かなこまち」は、親である「紅ほっぺ」や「やよいひめ」よりショ糖の割合が高く、酸の含有量も多く、糖・酸のバランスが良いイチゴです(図6)。

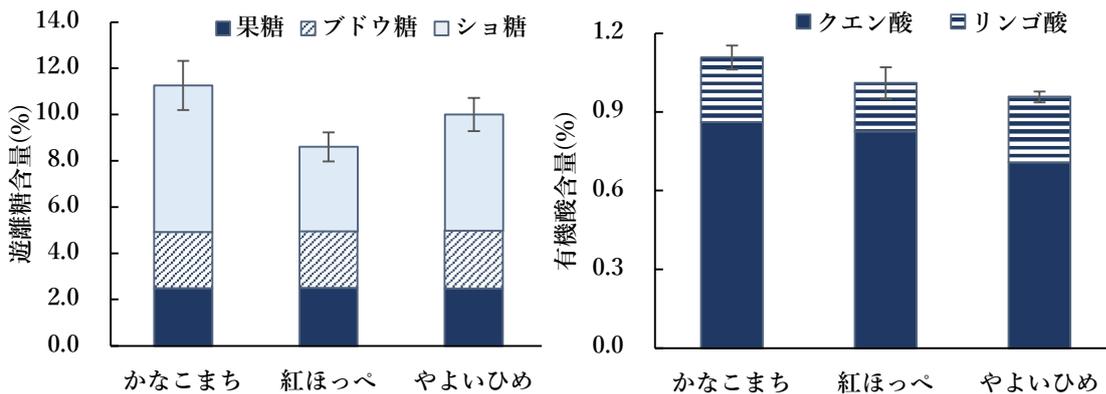


図6 「かなこまち」および親品種の遊離糖、有機酸含量(2022年2月)

### (4) ジューシーさ (多汁性)

イチゴのおいしさは、糖度や酸度だけでなく、食感やジューシーさも影響するといわれています。果肉の一部を押しつぶした時ににじみ出る果汁の量(果汁滲出率)をジューシーさの指標にすると、「かなこまち」と「やよいひめ」は「紅ほっぺ」より高い値となります(図7)。

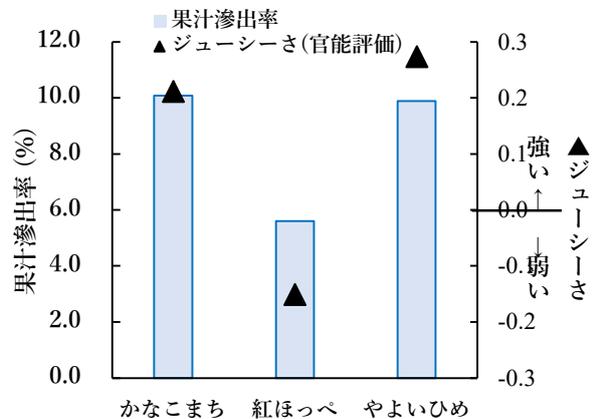


図7 「かなこまち」および親品種の多汁性の比較(2025年4月)